

話し合い

活動にあたっての注意事項と工夫

感染リスクから身を守るため、以下の内容に気を付けながら活動しましょう。

○保健・衛生対策

(1) マスクの着用	
<input type="checkbox"/>	参加者は全員、症状の有無にかかわらずマスクを着用しましょう。
<input type="checkbox"/>	夏場の活動では、マスクの着用による熱中症に注意し、水分補給や室温管理に気を付けましょう。
(2) 手洗い・手指消毒の実施	
<input type="checkbox"/>	参加者は、開始時及び終了時には必ず手洗いうがいをしましょう。手指消毒も行いましょう。
(3) 参加者の健康チェック	
<input type="checkbox"/>	参加前に検温などの健康チェックを行い、発熱や風邪の症状（咳、のどの痛みなど）がある場合は参加を見合わせましょう。 ※特に高齢者は重症化しやすいと言われているため、健康管理には注意しましょう。
<input type="checkbox"/>	参加者名簿を作成するなど、参加者を把握しておきましょう。
(4) その他	
<input type="checkbox"/>	会議に使用する部屋・道具などは使用前・使用後に消毒をしましょう。
<input type="checkbox"/>	水分補給以外の飲食は避けましょう。
<input type="checkbox"/>	大声での会話は飛沫が飛ぶので避けましょう。
<input type="checkbox"/>	消毒用アルコールや、忘れた方に渡す用のマスクを準備しましょう。
	菓子は個別包装されたものを用意しましょう。
<input type="checkbox"/>	資料がある場合には事前に配布しましょう（会議時間短縮や多くの人が同じものを触ることを避けるため）。

○三密対策

<input type="checkbox"/>	30分に1回、数分間の換気を行いましょう。
<input type="checkbox"/>	できれば2m（最低1m）の距離を取りましょう。
<input type="checkbox"/>	真正面での会話は避けましょう。
<input type="checkbox"/>	大人数で集まることは避け、なるべく少人数で回数を増やすなど工夫をしましょう。

○その他

<input type="checkbox"/>	利用施設のルールを随時確認し、遵守しましょう。
<input type="checkbox"/>	感染が拡大傾向となった場合には、会議中止や開催方法の見直しをしましょう。

活動の工夫

- ・話し合いの内容、ポイントを事前に共有し、話し合いの時間を出来るだけ短くする。
- ・三密状態を避けるため、屋外での話し合いをする。
- ・テーマごとに複数回開催する。
- ・オンラインツール（テレビ電話など）を活用して話し合いをする。

見守り

活動にあたっての注意事項と工夫

感染リスクから身を守るため、以下の内容に気を付けながら活動しましょう。

○保健・衛生対策

(1) マスクの着用	
<input type="checkbox"/>	お互いが、症状の有無にかかわらずマスクを着用しましょう。
<input type="checkbox"/>	夏場の活動では、マスクの着用による熱中症に注意し、水分補給や室温管理に気を付けましょう。
(2) 手洗い・手指消毒の実施	
<input type="checkbox"/>	訪問前後には必ず手洗いがいをしましょう。手指消毒も行いましょう。
(3) 健康チェック	
<input type="checkbox"/>	活動者は事前に 検温 などの健康チェックを行い、発熱や風邪の症状（咳、のどの痛みなど）がある場合は活動をお休みしましょう。 ※特に高齢者は重症化しやすいと言われているため、健康管理には注意しましょう。
(4) その他	
<input type="checkbox"/>	水分補給以外の飲食は避けましょう。
<input type="checkbox"/>	大声での会話は飛沫が飛ぶので避けましょう。
<input type="checkbox"/>	消毒用アルコールや忘れた方に渡す用のマスクを準備しましょう。

○三密対策

<input type="checkbox"/>	玄関や庭など換気のできる場所で距離を置いて会話をしましょう。
<input type="checkbox"/>	室内の場合は、冷暖房使用中でも適度にドアや窓を開放しましょう。
<input type="checkbox"/>	できれば2 m（最低1 m）の距離を取りましょう。
<input type="checkbox"/>	真正面での会話は避けましょう。

○その他

<input type="checkbox"/>	感染が拡大傾向となった場合には、訪問方法の見直しをしましょう。
--------------------------	---------------------------------

活動の工夫

- ・直接会うのが不安な方には往復はがきや交換日記などを利用して近況を教えてもらい、元気なことを確認したり、気にかけていることを伝えて安心してもらおう。
- ・顔を合わせることで安心感を得るためにテレビ電話なども活用する。
- ・インターホン越しに会話をする。
- ・窓ガラス越しに顔や姿を見せてもらい、元気なことを確認する。

感染リスクから身を守るため、以下の内容に気を付けながら活動しましょう。

○衛生・保健対策

(1) マスクの着用	
<input type="checkbox"/>	お互いが、症状の有無にかかわらずマスクを着用しましょう。
<input type="checkbox"/>	夏場の活動では、マスクの着用による熱中症に注意し、水分補給や室温管理に気を付けましょう。 ※植木の剪定など屋外の活動で、かつ人と人の距離が2 m以上離れるときはマスクを外しましょう。
(2) 手洗い・手指消毒の実施	
<input type="checkbox"/>	活動の前後には必ず手洗いがいをしましょう。手指消毒も行いましょう。
<input type="checkbox"/>	活動に使用する部屋・道具などは使用前・使用後に消毒をしましょう。
(3) 活動者・利用者の健康チェック	
<input type="checkbox"/>	参加前に検温などの健康チェックを行い、発熱や風邪の症状（咳、のどの痛みなど）がある場合は活動をお休みしましょう。 ※特に高齢者は重症化しやすいとされているため、健康管理には注意しましょう。
<input type="checkbox"/>	活動者・利用者の名簿を作成するなどして、メンバーを把握しておきましょう。
(4) その他	
<input type="checkbox"/>	事前に活動内容をよく確認し、三密状態になるような活動は避けましょう。
<input type="checkbox"/>	水分補給以外の飲食は避けましょう。
<input type="checkbox"/>	大声での会話は飛沫が飛ぶので避けましょう。
<input type="checkbox"/>	消毒用アルコールや忘れた方に渡す用のマスクを準備しましょう。
<input type="checkbox"/>	活動に使用する道具や食器などはなるべく使い捨てのものを使用しましょう。
<input type="checkbox"/>	活動で出たゴミはビニール袋に密封し、処分しましょう。

○三密対策

<input type="checkbox"/>	30分に1回、数分間の換気を行いましょう。
<input type="checkbox"/>	できれば2 m（最低1 m）の距離を取りましょう。
<input type="checkbox"/>	真正面での会話は避けましょう。
<input type="checkbox"/>	大人数での訪問は避け、なるべく少人数で活動回数を増やしましょう。

○その他

<input type="checkbox"/>	利用施設のルールを随時確認し、遵守しましょう。
<input type="checkbox"/>	大人数での訪問は避け、なるべく少人数で訪問回数を増やすようにしましょう。
<input type="checkbox"/>	感染が拡大傾向となった場合には、開催方法の見直しをしましょう。

活動の工夫

（ちょこボラ、地区ボラセン）

・訪問されることに不安がある方へは、電話やお手紙などで連絡を取り合い、活動自体はできなくてもつながりあって安心してもらおう。

（配食）

・集まって調理するリスクを避けるため、地元のスーパーや作業所のお弁当など、調理しない方法で実施する。

感染リスクから身を守るため、以下の内容に気を付けながら活動しましょう。

○衛生・保健対策

(1) マスクの着用	
<input type="checkbox"/>	参加者は全員、症状の有無にかかわらずマスクを着用しましょう。
<input type="checkbox"/>	夏場の活動では、マスクの着用による熱中症に注意し、水分補給や室温管理に気を付けましょう。
(2) 手洗い・手指消毒の実施	
<input type="checkbox"/>	参加者は全員、活動の前後に手洗いがいをしましょう。可能な場合は手指消毒も行いましょう。
<input type="checkbox"/>	活動に使用する部屋・道具などは使用前・使用後に消毒をしましょう。
(3) 参加者の健康チェック	
<input type="checkbox"/>	参加前に検温などの健康チェックを行い、発熱や風邪の症状（咳、のどの痛みなど）がある場合は活動をお休みしましょう。 ※特に高齢者は重症化しやすいとされているため、健康管理には注意しましょう。
<input type="checkbox"/>	参加者名簿を作成するなどして、参加者を把握しておきましょう。
(4) その他	
<input type="checkbox"/>	水分補給以外の飲食は避けましょう。食事をする場合には、座席の工夫や大皿からの取り分けを避け一人ひとりの食器に盛り付けましょう。
<input type="checkbox"/>	大声での会話は飛沫が飛ぶので避けましょう。
<input type="checkbox"/>	消毒用アルコールや忘れた方に渡す用のマスクを準備しましょう。
<input type="checkbox"/>	活動に使用する道具や食器などはなるべく使い捨てのものを使用しましょう。
<input type="checkbox"/>	菓子は個別包装されたものを用意しましょう。

○3密（密接・密集・密閉）対策

<input type="checkbox"/>	参加者をグループに分け複数回開催するなどして1回の参加者を少なくしましょう。
<input type="checkbox"/>	会場入り口等で3密状態になるのを防ぐため、参加者が時間差で入退場できるようにしましょう。
<input type="checkbox"/>	30分に1回、数分間の換気を行いましょう。
<input type="checkbox"/>	座席は正面で向かい合わせにならないような配置にしましょう。
<input type="checkbox"/>	できれば2m（最低1m）の距離を取りましょう。
<input type="checkbox"/>	真正面での会話は避けましょう。

○その他

<input type="checkbox"/>	利用施設のルールを順守しましょう。
<input type="checkbox"/>	感染が拡大傾向となった場合には、開催方法の見直しをしましょう。

活動の工夫

- ・公園での青空サロンなど、屋外での活動をする。
- ・調理はできるだけ減らし、地元のスーパーや作業所のお弁当などを利用する。
- ・会食会への参加が不安な方のために、持ち帰りや配食の対応をする。
- ・サロンなどの参加に不安がある方には、手紙や電話などでつながりを絶やさない工夫をする。